

1.	②	11.	①	21.	④	31.	④	41.	①
2.	②	12.	②	22.	④	32.	②	42.	④
3.	④	13.	④	23.	①	33.	③	43.	②
4.	①	14.	④	24.	④	34.	①	44.	④
5.	④	15.	①	25.	③	35.	③	45.	③
6.	③	16.	①	26.	②	36.	③	46.	③
7.	①	17.	②	27.	②	37.	①	47.	②
8.	①	18.	①	28.	②	38.	④	48.	②
9.	③	19.	③	29.	③	39.	②	49.	②
10.	④	20.	②	30.	④	40.	③	50.	①

1.

解答 ②

【解説】

正解は②の **select** です。「～を選ぶ、精選する」という意味の動詞で、多くの選択肢の中から慎重に、あるいは公式に選び出すというニュアンスがあります。①の **collect** は「～を集める」、③の **correct** は「～を訂正する」、④の **connect** は「～をつなぐ」という意味です。

◆補足：`select` は類義語の `choose` と比べて、より注意深く、客観的な基準で選ぶという硬い響きがあります。名詞形は `selection` (選択、精選品)。形容詞としては「選び抜かれた」という意味にもなります。例文: `She was selected as the captain of the team.` (彼女はチームのキャプテンに選ばれた)。

2.

解答 ②

【解説】

正解は②の **pass on** です。「(情報・メッセージ・物など)を(次の人に)伝える、渡す」という意味の句動詞です。`on` には「継続」のニュアンスがあり、次へ次へと渡していくイメージです。①の **pass away** は「亡くなる」という意味の婉曲的な表現です。③の **pass by** は人や場所のそばを「通り過ぎる」こと、④の **pass out** は「気絶する、意識を失う」ことを意味します。`pass` を使った句動詞はたくさんあり、意味もそれぞれ大きく異なるので、一つずつしっかり覚えましょう。

◆補足：`pass on A to B` で「AをBに伝える」という形でよく使われます。例文: `Could you pass this message on to him?` (この伝言を彼に伝えていただけますか?)。また、伝統や財産などを「後世に伝える」という意味でも使われます。

3.

解答 ④

【解説】

正解は④の **manage** です。`manage` には「～を経営する、管理する」という基本的な意味の他に、「(難しいことを) 何とかしてやり遂げる」という意味があり、`manage to do` の形で非常によく使われます。この問題では後者の意味を問うています。①の **damage** は「～に損害を与える」、②の **imagine** は「～を想像する」、③の **arrange** は「～を手配する、準備する」という意味です。

◆**補足**：`manage` の名詞形には `management` (経営、管理) や `manager` (経営者、マネージャー) があります。「何とかして～する」の用法は、困難な状況を乗り越えたニュアンスを出すのに便利です。例文: `I somehow managed to finish the work on time.` (私は何とかしてその仕事を時間内に終えることができた)。

4.

解答 ①

【解説】

正解は①「生き物」です。`creature` は、「動物」を意味する名詞で、人間以外の、特に想像上のものも含めた生き物全般を指すことがあります。`The movie features various magical creatures.` (その映画には様々な魔法の生き物が登場する)。②「創造者」は `creator`、③「特徴」は `feature`、④「文化」は `culture` がそれぞれ適切な単語です。

◆**補足**：`creature` は動詞 `create` (～を創造する) と関連しています。「創造されたもの」→「生き物」と考えると覚えやすいですね。コロケーションとしては `a sea creature` (海の生き物) や `a strange creature` (奇妙な生き物) などがあります。

5.

解答 ④

【解説】

「idea」は、頭に思い浮かぶ「考え」や「アイデア」、「意見」などを指す非常に基本的な名詞です。何かを計画したり、問題を解決したりする際の思考のひらめきなどを表します。よって、正解は④「考え」です。①「理想」は **ideal** という単語で、**idea** と形が似ているので注意が必要です。②「偶像」は **idol**、③「項目」は **item** という単語が対応します。

◆**補足**：`I have no idea.` は「知りません、見当もつきません」という意味の口語表現で、`I don't know.` よりも「全くわからない」という気持ちを強調します。`good idea` (良い考え)、`bad idea` (悪い考え) のように様々な形容詞と一緒に使われます。

6.

解答 ③

【解説】

「thanks to ～」は、「～のおかげで」という意味を表す英語表現です。良い結果がもたらされた原因や理由を示すときに使われます。`thank` という単語が入っていることから、感謝の気持ちが込められていると考えると覚えやすいでしょう。したがって正解は③です。①「～にもかかわらず」は **in spite of ～** や **despite ～** など表します。②「～の代わりに」は **instead of ～** で表します。④「～に加えて」は **in addition to ～** で表します。これらは全て重要な前置詞句なので、セットで覚えておくとう便利です。

◆補足：「thanks to ～」は良い結果について使われるのが基本ですが、皮肉を込めて「～のせいで」と悪い結果について使われることもあります。例えば、`Thanks to the traffic jam, I was late.` (交通渋滞のせいで、遅刻したよ)。また、同じく原因・理由を表す `because of ～` や `due to ～` は、良いことにも悪いことにも使えます。

7.

解答 ①

【解説】

正解は①の **spread** です。「(範囲・面積などが) 広がる」や「(病気・情報・うわさなどが) 広まる」という自動詞の意味と、「～を広げる」や「(バターなど) を塗る」という他動詞の意味の両方で使われる重要な単語です。②の **speak** は「話す」、③の **spend** は「(時間やお金) を費やす」、④の **split** は「～を分割する」という意味です。

◆補足：`spread` は過去形・過去分詞形も同じ `spread` です。`spread, spread, spread` と活用を覚えましょう。例文(自動詞)：`The fire spread quickly through the building.` (火はまたたく間に建物中に広がった)。例文(他動詞)：`He spread the map on the table.` (彼はテーブルの上に地図を広げた)。

8.

解答 ①

【解説】

正解は①の **developing country** です。`develop` は「発展する」という動詞で、その現在分詞形 `developing` は「発展している最中の」という意味になります。そこから「発展途上国」という意味になります。②の **developed country** は `develop` の過去分詞形 `developed` (発展し終えた) が使われており、「先進国」を意味します。この2つはセットで覚えるべき重要な表現です。③は「外国」、④は「隣国」を意味します。

◆補足：国際社会の文脈でよく使われる言葉です。経済的な発展の度合いを示す際に用いられます。例文: `Many developing countries are facing serious environmental problems.` (多くの発展途上国が深刻な環境問題に直面している)。

9.

解答 ③

【解説】

正解は③の **trade** で、「貿易」や「(商) 取引」を意味する名詞です。国と国との間の商品の売買や、企業・個人間の商業活動を指します。①の **traffic** は「交通 (量)」、②の **trend** は「傾向、流行」、④の **trick** は「たくらみ、いたずら、手品」という意味です。

◆補足：`trade` は動詞としても使われ、「取引する、貿易する」という意味になります。`trade A for B` で「A を B と交換する」という形もよく使われます。`free trade` (自由貿易) や `trade friction` (貿易摩擦) といった複合語もニュースなどでよく見られます。例文: `International trade is important for the country's economy.` (国際貿易はその国の経済にとって重要です)。

10.

解答 ④

【解説】

正解は④の `playful` で、「遊び好きな、陽気な、ふざけた」という意味の形容詞です。遊ぶのが好きで、元気いっぱいな様子を表します。`Dolphins are known to be intelligent and playful animals.` (イルカは知的で遊び好きな動物として知られている)。他の選択肢は、① `powerful` が「力強い」、② `painful` が「痛い」、③ `peaceful` が「平和な」という意味です。

◆補足：`playful` は名詞 `play` (遊び) に、`full` を意味する接尾辞 `-ful` が付いてできた形容詞です。「遊び心でいっぱい」と考えると意味が分かりやすいですね。`a playful kitten` (遊び好きな子猫)。

11.

解答 ①

【解説】

正解は①の **harmony** です。複数のものがうまく釣り合っている状態、つまり「調和」や「一致」を意味します。音楽の「ハーモニー」もこの単語です。②の **hobby** は「趣味」、③の **horror** は「恐怖」、④の **harvest** は「収穫」という意味です。

◆補足：`in harmony with ...` の形で「…と調和して」という表現がよく使われます。動詞形は `harmonize` (調和する、させる)。形容詞形は `harmonious` (調和のとれた) です。例文: `It is important to live in harmony with nature.` (自然と調和して生きることは重要です)。

12.

解答 ②

【解説】

「huge」は、「巨大な、莫大な」という意味の形容詞で、大きさや量、程度が並外れて大きいことを表します。したがって、正解は②「巨大な」です。①「人間の」は human、③「湿った」は humid、④「謙虚な」は humble という単語が対応します。

◆補足：`huge` は `very big` よりも強い意味を持ちます。同じように「巨大な」を意味する単語には `enormous`、`giant`、`vast` などがあり、それぞれ少しずつニュアンスが異なります。`a huge success`（大成功）や `a huge mistake`（大失敗）のように、大きさだけでなく程度の甚だしさを表すのにも使われます。例文: `They live in a huge house.`（彼らは巨大な家に住んでいる）。

13.

解答 ④

【解説】

正解は④の `guess` で、「～を推測する、～だと思う」という意味の動詞です。十分な情報がないまま、自分の考えや勘で答えようとすることを表します。`I guess he is about 40 years old.`（彼は 40 歳くらいだと思う）。他の選択肢は、① `guest` が「客」、② `quest` が「探求」、③ `gesture` が「身振り」という意味です。

◆補足：`I guess so.` は「たぶんそうだと思う」という、確信はないけれど同意を示す口語表現として非常によく使われます。名詞としても「推測」という意味があり、`take a guess` や `make a guess` で「推測してみる」となります。

14.

解答 ④

【解説】

正解は④「～より多い、～以上」です。`more than` ～` は、数や量、程度を比較する際に使う表現です。`more` が「もっと多い」という意味を持つことを知っていると分かりやすいですね。`The journey took more than three hours.`（その旅は 3 時間以上かかった）。①「～より少ない」は `less than` ～`、②「～とちょうど同じ」は `exactly the same as` ～` など、③「～のほとんど」は `most of` ～` を使います。

◆補足：`more than` は、単に数量が多いことだけでなく、`She is more than just a colleague to me.`（彼女は私にとって単なる同僚以上の存在だ）のように、程度が上であることを示す比喩的な意味でも使われます。

15.

解答 ①

【解説】

動詞「travel」は、ある場所から別の場所へ「移動する」こと全般を指しますが、特に楽しみのための「旅行する」という意味で最もよく使われます。したがって、正解は①「旅行する」です。②「困らせる」は **trouble**、③「信頼する」は **trust**、④「試す」は **try** という単語が対応します。

◆補足：`travel` は、人だけでなく物や光、音などが「進む、伝わる」という意味でも使われます。

例: `Light travels faster than sound.` (光は音よりも速く進む)。名詞としては「旅行」そのものを指し、通常は複数形や不可算名詞として扱われます。`trip` は特定の「(短い) 旅行」を指す可算名詞で、`travel` との使い分けが重要です。

16.

解答 ①

【解説】

正解は①の **combine** です。2つ以上のものを「結合させる、組み合わせる」という意味の動詞です。`com-` (共に) という接頭辞がヒントになりますね。②の **compare** は「～を比較する」、③の **complete** は「～を完成させる」、④の **complain** は「不平を言う」という意味です。これらは全て `com-` で始まる重要な動詞なので、意味をしっかりと区別しましょう。

◆補足：名詞形は `combination` (組み合わせ、結合) です。`combine A and B` や `combine A with B` の形で「A と B を組み合わせる」と表現します。例文: `This dish combines the flavors of sweet and sour.` (この料理は甘みと酸味の風味を組み合わせている)。

17.

解答 ②

【解説】

正解は②の **import** で、「～を輸入する」という意味の動詞です。`im-` (中に) と `port` (港、運ぶ) というパーツから成り立っており、「中に運び込む」というイメージで覚えるとよいでしょう。この問題の最大のポイントは、①の **export** との区別です。`export` は `ex-` (外に) がついていることからわかるように、「～を輸出する」という **import** の正反対の意味になります。③ **support** は「～を支える」、④ **report** は「～を報告する」という意味です。

◆補足：`import` は名詞としても使われ、その場合は「輸入品」や「輸入」そのものを指します。動詞の場合は後ろの `port` に、名詞の場合は前の `im` にアクセントが置かれるのが一般的です。例文: `Japan imports a lot of oil from other countries.` (日本は多くの石油を他国から輸入している)。

18.

解答 ①

【解説】

正解は①「～し続ける」です。`keep (on) doing`は、ある行動を中断せずに、あるいは繰り返し行うことを表します。`on`は省略されることもあります。付けると継続の意味が強調されます。`You have to keep practicing if you want to get better.`（もし上達したいなら、練習し続けなければならない）。②「～するのをやめる」は`stop doing`、③「～するを楽しむ」は`enjoy doing`、④「～することを気にする」は`mind doing`です。これらは全て動名詞を目的語にとる重要な表現です。

◆補足：`keep`の後ろには動名詞(-ing 形)が続くのがポイントです。`keep running`（走り続ける）。`keep smiling`（微笑み続ける）。命令文で`Keep going!`（その調子で頑張れ!）という励ましの言葉としても使われます。

19.

解答 ③

【解説】

正解は③「世紀、100 年」です。`century`は「100 年間」を意味する名詞です。`The castle was built in the 15th century.`（その城は 15 世紀に建てられた）。①「国」は`country`、②「中心」は`center`、④「セント」は`cent`です。

◆補足：`century`は、`cent`（ラテン語で 100 を意味する）という言葉と関連があります。1 メートルが 100 センチメートルであるように、`centi`には「100」という意味が含まれています。これを手がかりにすると、`century`が 100 年であると覚えやすくなりますね。

20.

解答 ②

【解説】

正解は②の **work on** ～ です。「～に取り組む」や「～の作業をする」という意味で、宿題やプロジェクト、修理など、特定の課題や仕事に時間と労力をかけていることを表します。①の **work for** ～ は「(会社など)に勤めている」または「(人)のために働く」という意味です。③の **work out** は「(計画などが)うまくいく」や「(体を)鍛える、運動する」など複数の意味を持つ句動詞です。④の **work with** ～ は「～と協力して働く」という意味です。

◆補足：`on`には「～に関して」や「接触」といった意味合いがあり、そこから「～に集中して取り組む」というニュアンスが生まれます。例文: `I need to work on my presentation for next week.`（来週のプレゼンテーションに取り組まなければならない）。

21.

解答 ④

【解説】

「snake」は、爬虫類の「ヘビ」を意味する名詞です。したがって、正解は④「ヘビ」です。①「軽食」は snack で、snake と発音が非常に似ているため、聞き間違いやすい単語の代表例です。②「カタツムリ」は snail、③「サメ」は shark です。

◆補足：`snake` は動詞として「(ヘビのように) 曲がりくねって進む」という意味で使われることもあります。例: `The river snakes through the valley.` (その川は谷を縫うように流れている)。

22.

解答 ④

【解説】

正解は④の seed で、「(植物の) 種」を意味する最も一般的な単語です。①の weed は「雑草」、②の leaf は「葉」、③の root は「根」を意味します。これらはすべて植物に関連する基本的な単語なので、セットで覚えておくと語彙力がつきます。

◆補足：`seed` は比喩的に「(物事の) 原因、種」という意味でも使われます。例: `the seeds of conflict` (争いの種)。動詞として「種をまく」という意味もあります。その場合は `sow` という動詞が使われることも多いです。例文: `He planted vegetable seeds in his garden.` (彼は庭に野菜の種を植えた)。

23.

解答 ①

【解説】

英単語「period」は、「期間」や「時代」といった、ある特定の時間の区切りを指す名詞です。文の終わりにつける「.」(ピリオド)も同じ単語ですが、名詞としては時間の区切りを意味するのが最も一般的です。したがって、正解は①「期間」です。②「場所」は place、③「理由」は reason、④「目的」は purpose や aim といった単語が対応します。これらは全て基本的な名詞なので、混同しないように正確に覚えましょう。

◆補足：`period` は様々な時間の長さに使えます。`a short period of time` (短い期間) のように使うこともあれば、`the Edo period` (江戸時代) のように歴史的な「時代」を指すこともあります。また、学校の「授業時間」を指すこともあります。例: `We have four classes in the morning period.` (午前の授業は4時間です)。

24.

解答 ④

【解説】

名詞「influence」は、人や物事の考え方、行動、発達などに変化を及ぼす力、すなわち「影響」や「影響力」を意味します。したがって、正解は④です。①「流暢さ」は fluency、②「知性」は intelligence、③「違い」は difference という単語が対応します。

◆補足：`influence` は動詞としても使われ、その場合も「～に影響を与える」という意味です。`have an influence on ...` という形で「…に影響を与える」と表現することも非常に多いです。類義語の `effect` は、ある原因によってもたらされる「結果、効果」というニュアンスが強いです。例文: `The media has a powerful influence on public opinion.` (メディアは世論に強力な影響力を持っている)。

25.

解答 ③

【解説】

正解は③の `rock` で、「岩、岩石」を意味します。地面の一部となっているような、大きくて動かせない岩を指すことが多いです。`He enjoys rock climbing.` (彼はロッククライミングを楽しんでいる)。他の選択肢は、① `lock` が「錠」、② `clock` が「(置き・掛け) 時計」、④ `shock` が「衝撃」という意味です。

◆補足：`stone` も「石」ですが、`stone` が人が持てるくらいの比較的小さな石を指すことが多いのに対し、`rock` はより大きく、自然のままの岩盤というニュアンスが強いです。音楽の「ロック」もこの `rock` です。

26.

解答 ②

【解説】

「developed country」は、「先進国」を意味する英語表現です。`develop` (発展する) の過去分詞形 `developed` は「発展した」という意味で、経済的に高度に発展した国を指します。したがって、正解は②です。①の developing country は「発展途上国」を意味し、developed country の対義語として必ず一緒に覚えましょう。③は「故国」、④は「島国」を意味します。

◆補足：`developed country` は `advanced country` や `industrialized country` とも呼ばれます。例文: `Japan is one of the developed countries in Asia.` (日本はアジアにおける先進国の一つです)。

27.

解答 ②

【解説】

正解は②の surface です。物の一番外側の部分、つまり「表面」を意味します。水面や地面を指すこともあります。`sur-` (上に) と `face` (顔、面) が合わさった単語だと考えるとイメージしやすいです。

しょう。①の surprise は「驚き」、③の service は「サービス、奉仕」、④の survey は「調査」という意味です。

◆補足：`on the surface` で「表面上は、うわべは」という副詞句になります。動詞としては「(隠れていたものが) 表面化する、現れる」という意味で使われます。例文: `The surface of the lake was very calm.` (湖の表面はとても穏やかだった)。

28.

解答 ②

【解説】

正解は②の prevent です。「～を妨げる、防ぐ」という意味で、何かが起こるのを前もって阻止するというニュアンスを持つ動詞です。よく `prevent A from doing` (A が～するのを妨げる) という形で使われます。①の provide は「～を供給する、提供する」という意味です。③の protect は「～を危険や害から守る」という意味です。④の prepare は「～を準備する、用意する」という意味で、`prepare for ~` (～の準備をする) という形でよく使われます。

◆補足：`prevent` は `pre-` (前に) と `vent` (来る) という語源から成り立っており、「前もって来て妨げる」というイメージで覚えるとよいでしょう。コロケーション (よく一緒に使われる言葉) としては、`prevent crime` (犯罪を防ぐ)、`prevent accidents` (事故を防ぐ)、`prevent disease` (病気を防ぐ) などがあります。

29.

解答 ③

【解説】

正解は③「失敗」です。`failure` は、「不成功、失敗」や「(期待されたことを) しないこと、怠慢」を意味する名詞です。`The experiment ended in failure.` (その実験は失敗に終わった)。`His failure to follow the instructions caused the problem.` (彼が指示に従わなかったことが、その問題を引き起こした)。①「未来」は `future`、②「特徴」は `feature`、④「公平さ」は `fairness` がそれぞれ適切な単語です。

◆補足：`failure` は動詞 `fail` (失敗する) の名詞形です。`a power failure` (停電)、`heart failure` (心不全)。

30.

解答 ④

【解説】

正解は④「化石」です。`fossil`は、大昔の動植物が地層の中に残した痕跡を意味する名詞です。`They found a fossil of a dinosaur.`(彼らは恐竜の化石を発見した)。①「燃料」は`fuel`、②「霧」は`fog`、③「柔軟な」は形容詞の`flexible`がそれぞれ適切な単語です。

◆補足：`fossil fuel`で「化石燃料」(石炭、石油、天然ガスなど)という、環境問題の文脈で非常に重要な複合語になります。`fossil record`は「化石の記録」を意味します。

31.

解答 ④

【解説】

正解は④の`predict`で、「～を予測する、予言する」という意味の動詞です。未来に何が起こるかを、現在の情報や知識に基づいて推測することを表します。`No one can predict exactly when an earthquake will occur.`(いつ地震が起こるかを正確に予測できる人は誰もいない)。他の選択肢は、①`pretend`が「～のふりをする」、②`protect`が「～を保護する」、③`precede`が「～に先行する」という意味です。

◆補足：名詞形は`prediction` (予測、予言) です。類義語の`forecast`は主に天気や経済の予報で使われますが、`predict`はより幅広い事柄の予測に使えます。

32.

解答 ②

【解説】

正解は②の `important` で、「重要な、大切な」という意味の最も基本的な形容詞です。物事の価値や影響が大きいことを示します。①の `impossible` は「不可能な」、③の `interesting` は「おもしろい、興味深い」、④の `international` は「国際的な」という意味です。これらは全て基礎的な形容詞なので、意味をしっかりと区別して使えるようにしておくことが大切です。

◆補足：`important` の名詞形は `importance` (重要性) です。`It is important to do ...` や `It is important that ...` の形で「～することは重要だ」と表現することが非常によくあります。類義語には `necessary` (必要な)、`essential` (不可欠な)、`vital` (極めて重要な) などがあり、重要度の高さによって使い分けられます。

33.

解答 ③

【解説】

正解は③の`hide`で、自動詞として「隠れる」、他動詞として「～を隠す」という二つの意味を持ちます。`Let's hide somewhere before he finds us.`(彼に見つかる前にどこかに隠れよう)。`She hid the`

present in the closet.` (彼女はプレゼントをクローゼットの中に隠した)。他の選択肢は、①`hold`が「～を持つ」、②`ride`が「～に乗る」、④`side`が「側面」という意味です。

◆補足：`hide`の活用は`hide - hid - hidden`と不規則に変化します。過去分詞の`hidden`は「隠された」という形容詞としてもよく使われます。`a hidden message` (隠されたメッセージ)。`hide-and-seek`は「かくれんぼ」です。

34.

解答 ①

【解説】

正解は①の **pay attention to ~** です。「～に注意を払う、～に注目する」という意味の重要な熟語です。ここで使われる `pay` は「支払う」という意味から派生して、注意などのリソースを「向ける、払う」というニュアンスで使われています。②の **take part in ~** は「～に参加する」、③の **look forward to ~** は「～を楽しみに待つ」、④の **get used to ~** は「～に慣れる」という意味です。いずれも `to` で終わる表現ですが、意味は全く異なります。

◆補足：`attention` は次の問題にも出てきますが、「注意、注目」という意味の名詞です。`pay` の代わりに `draw` (引く) を使えば `draw attention to ~` 「～への注意を引く」となり、`call` を使えば `call attention to ~` 「～への注意を喚起する」となります。例文: `You should pay attention to the traffic signs.` (交通標識に注意を払うべきです)。

35.

解答 ③

【解説】

「condition」は、物や人の「状態」「状況」を指す名詞です。また、契約などの「条件」という意味で使われることも非常に多いです。この問題では、最も基本的な意味である③「状態」が正解となります。①「感情」は **feeling** や **emotion**、②「意見」は **opinion**、④「関係」は **relationship** や **relation** という単語がそれぞれ対応します。**condition** は幅広い意味で使われる重要な単語なので、文脈に応じて意味を判断できるようになることが大切です。

◆補足：`in good condition` で「良い状態で」、`in bad condition` で「悪い状態で」というように、状態の良し悪しを表す際によく使われます。例文: `The used car was in very good condition.` (その中古車はとても良い状態だった)。「条件」という意味では、`on condition that ...` (…という条件で) という表現も重要です。

36.

解答 ③

【解説】

正解は③「ふるまう」です。動詞の`behave`は、特定の状況下で人がとる行動の様子を表します。特に、社会的に適切とされる「行儀よくする」という意味で使われることが多いです。`The children were told to behave themselves at the party.` (子供たちはパーティーで行儀よくするよう言われた)。
①「～を信じる」は`believe`、②「～に属する」は`belong`、④「呼吸する」は`breathe`です。

◆補足：名詞形は`behavior` (ふるまい、行動) です。`His behavior in class has improved.` (彼の授業中の態度は改善された)。`well-behaved`で「行儀の良い」という形容詞になります。

37.

解答 ①

【解説】

正解は①の`forecast`で、名詞として「予報、予測」、動詞として「～を予報する、予測する」という二つの意味があります。特に天気や経済の今後の動向について使われます。`According to the weather forecast, it will be sunny tomorrow.` (天気予報によると、明日は晴れるでしょう)。他の選択肢は、②`broadcast`が「放送」や「～を放送する」、③`breakfast`が「朝食」、④`forehead`が「額 (ひたい)」という意味です。

◆補足：`fore-`は「前もって」、`cast`は「投げる」という意味です。「前もって (情報を) 投げる」から「予報する」という意味につながっています。動詞の活用は`forecast - forecast - forecast` (または-ed 形) と、変化しない形が一般的です。

38.

解答 ④

【解説】

「A as well as B」は、「B だけでなく A も」という意味を表す重要な表現です。`not only B but also A` とほぼ同じ意味で、B に加えて A の存在を強調します。この表現が主語になるとき、動詞は A の人称や数に合わせるのが原則です。例えば、`She as well as you is responsible for the task.` (あなただけでなく彼女もその仕事に責任がある) となります。①は as ... as を使った同等比較の文、②は rather than など、③は either A or B で表される意味です。

◆補足：B だけでなく A も、と訳すように、意味の中心 (強調したいこと) は B ではなく A に置かれます。これは `not only B but also A` で A に重点が置かれるのと同じです。会話では、文末に `..., as well.` (～もまた) という形で使われることも非常に多いです。例: `I'd like a coffee, and a piece of cake as well.` (コーヒーをください。それとケーキもお願いします)。

39.

解答 ②

【解説】

正解は②「忍耐、我慢」です。`patience`は名詞で、困難な状況や、待たなければならない状況で、不平を言わずに冷静さを保つ能力を指します。`Patience is a virtue.`（忍耐は美德である）は英語のことわざです。①「患者」は`patient`、③「親」は`parent`、④「支払い」は`payment`です。これらは発音が似ているので、混同しないようにしましょう。

◆補足：形容詞形は`patient`（忍耐強い）です。名詞の`patient`（患者）と全く同じスペルなので、文脈で判断する必要があります。`lose one's patience`で「堪忍袋の緒が切れる、我慢できなくなる」、`run out of patience`で「我慢の限界に達する」となります。

40.

解答 ③

【解説】

正解は③の **danger** で、「危険」や「危機」を意味する最も一般的な名詞です。身体的な危害やよくない事態が起こる可能性を指します。①の **anger** は「怒り」、②の **stranger** は「見知らぬ人」や「不慣れな人」、④の **damage** は「損害、被害」という意味です。特に **danger** と **anger** はスペルが似ているので、混同しないように注意が必要です。`in danger` で「危険な状態で」という重要な表現になります。

◆補足：派生語には `dangerous`（形容詞：危険な）があります。`Danger!` は危険な場所を示す看板などにも書かれている言葉です。類義語に `risk` がありますが、`danger` は直接的で具体的な危険を、`risk` は将来起こるかもしれない潜在的な危険や、自ら引き受ける危険というニュアンスで使われることが多いです。

41.

解答 ①

【解説】

「moreover」は、前に述べた事柄に加えて、さらに情報を付け加えるときに使う接続副詞で、「その上」「さらに」という意味です。文と文をつなぐ働きをします。したがって正解は①です。②「しかしながら」は逆の内容を述べるときに使う **however** などが相当します。③「したがって」は原因と結果の関係を示す **therefore** などが当てはまります。④「たとえば」は具体的な例を挙げるときに使う **for example** などが相当します。このように、文と文の関係性を示す接続副詞は、それぞれ意味がはっきり違うので、正確に覚えておきましょう。

◆補足：「moreover」は少し硬い表現で、書き言葉でよく使われます。同じ「その上」という意味で、より口語的な表現には「in addition」や「besides」「furthermore」などがあります。例文: The book is interesting. Moreover, it is easy to read.（その本は面白い。その上、読みやすい。）

42.

解答 ④

【解説】

正解は④の`chase`で、「～を追いかける、追跡する」という意味の動詞です。`The police car was chasing a stolen vehicle.`（パトカーは盗難車を追いかけていた）。他の選択肢は、①`choose`が「～を選ぶ」、②`cheese`が「チーズ」、③`case`が「場合、事件」という意味です。

◆補足：`chase a dream`で「夢を追いかける」という比喩的な使い方もします。名詞としても「追跡」という意味があり、`a car chase`（カーチェイス）という言葉は日本語にもなっていますね。

43.

解答 ②

【解説】

正解は②「恐竜」です。`dinosaur`は、中生代に生息していた大型の爬虫類を指す名詞です。`The museum has a large collection of dinosaur fossils.`（その博物館は大規模な恐竜の化石のコレクションを所蔵している）。①「ドラゴン」は`dragon`、③「日記」は`diary`、④「ダイヤモンド」は`diamond`がそれぞれ適切な単語です。

◆補足：`dinosaur`は、ギリシャ語の`deinos`（恐ろしい）と`sauros`（とかげ）を組み合わせた言葉に由来します。

44.

解答 ④

【解説】

正解は④の **survive** です。「生き残る」という意味の動詞で、事故や災害、困難な状況などを乗り越えて生命を維持することを表します。①の **arrive** は「到着する」、②の **support** は「～を支える、支援する」、③の **succeed** は「成功する」や「（～を）継承する」という意味です。特に **survive** と **succeed** は、困難を乗り越えるという点で混同しやすいかもしれませんが、**survive** は「生き延びること」、**succeed** は「目標を達成すること」に焦点があるという違いを理解しておきましょう。

◆補足：`survive` は自動詞（目的語なし）としても他動詞（目的語あり）としても使われます。自動詞の例: `He survived.`（彼は生き残った）。他動詞の例: `He survived the war.`（彼はその戦争を生き延びた）。派生語には `survival`（名詞: 生存）や `survivor`（名詞: 生存者）があります。

45.

解答 ③

【解説】

「together with ～」は、「～と一緒に」「～に加えて」という意味を表す表現です。単純に `with` を使うよりも、一体感や強調のニュアンスが含まれることがあります。したがって、正解は③です。①

「～の代わりに」は **instead of** ～、②「～の前に」は **in front of** ～、④「～にもかかわらず」は **in spite of** ～ で表します。

◆補足：`A together with B` が主語になる場合、動詞は A に合わせるのが一般的です。これは `A as well as B` と同じルールです。例文: `The box, together with its contents, was very heavy.` (その箱は中身と一緒にあって、とても重かった)。

46.

解答 ③

【解説】

正解は③の **symbol** で、「象徴」や「しるし」「記号」という意味の名詞です。例えば、ハトが平和の象徴であるように、あるものが別の抽象的な概念を表している関係を示します。①の **sample** は「見本、サンプル」、②の **system** は「体系、制度、システム」、④の **signal** は「信号、合図」という意味です。いずれも **s** から始まる基本的な単語ですので、混同しないようにしましょう。

◆補足：`symbol` の動詞形は `symbolize` (～を象徴する)、形容詞形は `symbolic` (象徴的な) です。`a symbol of ...` の形で「…の象徴」と表現されることが非常に多いです。例文: `The dove is a symbol of peace.` (ハトは平和の象徴です)。

47.

解答 ②

【解説】

名詞「**record**」は、文字や音声、映像などで保存された情報、すなわち「記録」や「登録」を意味します。スポーツの「記録」や、音楽の「レコード」もこの単語から来ています。したがって、正解は②「記録」です。①「報告」は **report**、③「報酬」は **reward**、④「回復」は **recovery** という単語がそれぞれ対応します。

◆補足：`record` は動詞として「～を記録する、録音・録画する」という意味でも使われます。名詞の場合は前の `re` に、動詞の場合は後ろの `cord` にアクセントが置かれるのが一般的です。`break a record` で「記録を破る」、`keep a record` で「記録をつける」という表現もよく使われます。

48.

解答 ②

【解説】

「**by chance**」は、「偶然に」「たまたま」という意味を表す副詞句です。意図せず何かが起こった状況を説明するのに使われます。したがって、正解は②「偶然に」です。①「交代で」は **by turns**、③「もちろん、ぜひとも」は **by all means**、④「ちなみに、ところで」は **by the way** という表現がそれぞれ対応します。`by` を使った熟語はたくさんあるので、一つずつ意味をしっかりと覚えましょう。

◆補足：`by accident` も「偶然に」という意味で `by chance` とほぼ同じように使えます。例文: `I met an old friend by chance at the station.` (駅で偶然、古い友人に会った)。

49.

解答 ②

【解説】

「stop A from doing」は、「A が～するのを妨げる、やめさせる」という意味の重要な英語表現です。何かを妨害したり、中止させたりする状況で使われます。`stop` の代わりに `prevent` や `keep` を使っても、ほぼ同じ意味を表すことができます (`prevent A from doing`, `keep A from doing`)。したがって、正解は②です。①は ask A to do、③は allow A to do、④は help A (to) do などで表現される意味内容であり、文型も意味も異なります。

◆補足：`doing` の部分には動詞の ing 形が入ります。例文: `The heavy rain stopped us from going out.` (大雨のせいで私たちは外出できなかった)。この `from` は省略されることもありますが、特に書き言葉では `from` を入れるのが一般的です。

50.

解答 ①

【解説】

「difference」は、「違い」「相違 (点)」を意味する名詞です。2 つ以上の物事を比べたときに、同じでない部分を指します。したがって、正解は①です。②「困難」は difficulty、③「発見」は discovery、④「方向」は direction という単語が対応します。これらは全て基本的な名詞ですので、しっかり区別できるようにしましょう。

◆補足：`difference` は形容詞 `different` (違う、異なる) の名詞形です。`the difference between A and B` で「A と B の違い」という形でよく使われます。また、`make a difference` は「変化をもたらす、重要である」という意味の重要な熟語です。例文: `What's the difference between these two cameras?` (これら 2 つのカメラの違いは何ですか?)。
